



# たざわ

田沢コミュニティ振興会会報  
第45号 令和5年1月1日

幸多き一年に  
なりますように



はるま  
土岐 悠馬さん(元田沢)  
2011年(平成23年)生まれ

僕の今年の目標はいろんな人を助けてあげることです。自分が困っていたら助けを求めたりなどと助け合いができたらいなと思いました。そして6年生になるので新しい1年生はきっと困っていることがあると思うので助けてあげたいです。南平田小にも早くなじめるように支えてあげたいです。6年生なので勉強もものすごく難しいと思うので勉強も張り切って頑張りたいです。目標を達成したいです。



しゅんぺい  
石井 竣平さん(元田沢)  
2011年(平成23年)生まれ

中学校生活で力を入れたいことは二つあります。一つ目は苦手な勉強を克服することです。社会が苦手なので授業に集中して話を聞いて、苦手意識を持たずにチャレンジするようにしたいです。二つ目は友達関係です。相手によって態度を変えないということを頑張りたいです。自分がされると嫌なので相手にもしないようにします。ただの目標で終わらないように頑張ります。



ゆめ  
岩間 優芽さん(元田沢)  
2011年(平成23年)生まれ

私の今年の目標は、中学生になって新しい友達と仲よく元気に過ごすことです。初めて会う人にも自分から話かけて、仲よくしたいです。そして、勉強も頑張りたいです。中学生はテスト一つ一つが大切なので、授業をしっかり聞いて、その日習ったことはその日のうちに復習するようにしたいです。中学校では、今まで以上に勉強や運動を頑張りたいと思います。



# 2023年

## 年男・年女に聞きました!



石川 道夫さん(元田沢)  
1951年(昭和26年)生まれ

花や野菜作りが生きがいです。庭に母親が植えたダリヤがあったことから自分でも手入れをし始め、今では気に入った花を咲かせる球根が100株ほどに増えました。秋に球根を掘り起こし春に植え付けたりと作業も大変ですが、これからも大事に育てて道行く人の目も楽しませたいです。



石黒 一喜さん(西坂本)  
1939年(昭和14年)生まれ

平成9年に妻に先立たれ、以来20数年一人暮らしをしています。この間、特に食事や運動など健康に気を使ったわけではありませんが、おかげさまで大した病気もせず元気に暮らしています。7回目の年男を迎えましたが、これからも悩み事を抱えず淡々と生きていきたいです。



阿蘇 清子さん(楯山)  
1927年(昭和2年)生まれ

若いときから民謡の会に所属してうたったり太鼓演奏の指導をしてきました。声を出したり体を使うことが健康につながったのだと思います。今は市内の娘夫婦と一緒に暮らし週3日は楯山に帰ってきていますが、訪ねてきたご近所さんや友だちとこれからもお話しを楽しみたいと思います。



**高橋 千栄さん(小林山元)**  
1963年(昭和38年)生まれ

普段見過ごしてしまうような草花や空に浮かぶ雲をスマホで自分なりに写真に収めるのが好きです。道端に咲く雑草の小さな花を見つけるとついスマホを向けて、カシャッ! また猫も大好きで、野良猫でもなんでも写真に収めてしまいます。こんなたわいのないことで幸せを感じます。これからも自然や動植物への感性を失わずに生きていきたいです。



**阿部 敬子さん(小林山元)**  
1951年(昭和26年)生まれ

私は旅をすることが大好きです。これまでも韓国、中国、ハワイ、フランス等にも足を運びました。外から自分の地域を見ることで、思いがけない地域の良さを発見できるからです。また、鑑定団や世界遺産のテレビ番組も大好きです。コロナが終息したら、骨とう市や美術館巡りに出かけたいです。



**岸 美幸さん(田沢新田)**  
1975年(昭和50年)生まれ

仕事と家事に忙しい日々を送っています。そんな私の唯一の楽しみは韓国ドラマを観ること。家族が契約しているユーネクストというチャンネルでほぼ毎日ドラマ鑑賞しています。韓国ドラマはストーリー性に富み人間の感情を細やかに表現している作品が多く、はまっています。

正月休みは韓国ドラマごんまいで感激に浸りたいです。



**丸山 千鶴子さん(元田沢)**  
1963年(昭和38年)生まれ

今年はバイクでいっぱい走りたい。リターンライダー6年目。大型乗りの友達と出会い去年に大型免許取得。女性だけのツーリングチームでの行ったことのない所、おしゃれなカフェやお店。仲間達からもらう元気。わくわく感に気分転換。仕事も介護も頑張ったうえでバイクライフを楽しんでいきたい。



**石黒 紀里子さん(楯山)**  
1999年(平成11年)生まれ

感動の「感」、感情の「感」、感性の「感」、そして感謝の「感」。2022年に引き続き、変化の多い1年になりそうです。様々な形で自分をアウトプットし、感覚のままに進んでいきたいです。

今年はどんな人に出会い、どんな場所に行って、どんな景色を見て、自分がどんなことを感じるのか。今から楽しみです!



**石川 ゆかさん(田沢新田)**  
1987年(昭和62年)生まれ

去年はいろいろな出来事があり、大変な一年でした。今はSNSなどのインターネット社会で便利な反面、見えない所での非謗中傷もあり、大人も子供も様々なストレスの中で生活していると思います。命を大切に、お互いに思いやりを持って尊重し合えるような世の中になって欲しいと願います。

今年は卯年! ウサギのように大きく飛躍できるような楽しい一年になれるよう、私も頑張りたいと思います。

# 地震に備える

前号では局地的豪雨災害への備えについて特集しましたが、今号では、地震災害の備えについて酒田防災ネットワーク防災士の阿部一郎さんにお話を伺いました。



酒田防災ネットワーク防災士  
阿部 一郎 さん

「自分は大丈夫」という思いから抜け出そう

毎年、日本のどこかで大きな自然災害が発生しているのに、なぜ人は災害に備えないのでしょうか？なぜか？なぜいつも逃げ遅れる人が出るのでしょうか？それは「自分は大丈夫」という思いに人はとらわれるからだと言われています。これを正常化バイアス（偏見）と言います。

自分にとって都合の悪い情報を無視したり過少評価してしまうことは人間の特性で、誰でも持っていることです。

災害から身を守るには、自分は大丈夫という思いから抜け出す必要があります。

## 自分の安全は自分で守ることが基本

災害被害の軽減は『自助・共助・公助』の効率的な連携で実現されますが、基本は、自助すなわち「自分の安全は自分で守ること」です。

特に大事なものは「備え」です

「自分の安全は自分で守ること」で特に大事なことは、「備え」です。地震の場合の「備え」について、重要だと思ふことを紹介します。

### 【室内の備え】

- 地震による負傷者の30%～50%は、家具類の転倒・落下・移動が原因です。特に寝室や、子どもやお年寄りのいる部屋には家具を置かないようにしましょう。
- 背の高い家具を置く場合は、倒れないようにL字金具や支え棒などで固定してください。
- 背の低い家具を置く場合でも、家具の手前に小さな板などを差し込んで、壁や柱に寄りかかると固定してください。



### 【避難の備え】

- 地震被害により自宅での生活が困難になった場合を想定して、避難先と安全な非難経路を決めておきましょう。

### 【物の備え】

- ひとたび大規模な地震が起これば物資供給の停滞も想定されます。日頃利用している食料品や生活必需品を少し多めに買い置きしておく「日常備蓄」に取り組みましょう。
- 電気や水道などが止まる被害も想定されます。自宅避難生活を送るために備えておくべき品目や量を家族で考え、備蓄品としてそろえておくことが重要です。3日から7日分が目安と言われています。



有事に備えた地区防災計画づくりが求められています

災害時には近隣の住民同士が助け合えるように、高齢者が年々進み、災害時に支援の必要な人が今後ますます増えてきます。自治会ごとに集落内を点検し、災害からお互いの身を守るための具体的な地区防災計画作りのための話し合いが今、求められています。

# かやぶき屋根とどんぐり

—めぐるいのちのものがたり—

10月30日(日)、旧阿部家を会場に、かやぶき屋根に根付いたどんぐりの創作紙芝居口演と実際にかやぶき屋根に触れてみる催しが開かれ、市内はもちろん秋田県からのお客さんなど多くの人でにぎわいました。

旧阿部家の屋根に根付いたどんぐりの物語りを考え当日の催事を企画したのは平田地域を活動拠点とする酒田市地域おこし協力隊の内藤小容子さん。紙芝居の絵を担当したのは実際に茅葺職人として活躍している荒愛理さん。

お二人に、かやぶき屋根にまつわる想いと紙芝居絵の創作についてお話を伺いました。



茅葺き屋根に触れてみる



紙芝居風景



紙芝居の口演は、よねさんこと  
米田 左之助 さん

旧阿部家は酒田市の指定文化財、つまり地域の宝物です。そんな旧阿部家の特徴のひとつは、茅葺き屋根。茅葺きって昔話に出てくる過去のもの、と考えている人も多いのではないのでしょうか？  
実は、二〇二〇年十二月には「茅葺」と「茅採取」を含む「伝統建築工匠の技」がユネスコの無形文化遺産に登録され、世界的にも注目が高まっています。  
茅葺きは、身近な自然から得られる素材から暮らしの基盤を支える技、いのちと資源が循環しゴミも二酸化炭素も出ない生活の知恵、そして、地域の風土の中で育まれた、かけがえのない文化なのです。



地域おこし協力隊  
内藤 小容子 さん

制作は、物語を説明しすぎないよう心がけました。絵画作品の多くは、鑑賞者の五感を揺さぶったり、体験や原風景から想像を巡らせませす。最初こそ、動植物は間違いのないよう図鑑をしっかりと見て・・・と構えてましたが、次第に「概念とか要らないかも」と遊ぶように。「自然」とは、そういうことかもしれません。  
紙芝居という特殊な分野ですが、いえ、大切なテーマを持つこの紙芝居だからこそ、一枚一枚に力のある絵画として意識しました。  
・・・とは言え、屋根に登っていても絵筆を握っていても根底にある想いは同じです。茅葺き屋根のある風景を守りたい。その周りをとりまく環境って、どんなに美しいことでしょうか。



紙芝居の絵を担当した  
荒 愛理 さん

～ 紙芝居の一場面 ～



表紙



かやぶき屋根に  
根づいたどんぐり



山里の四季



どんぐりを  
見つけたカケス



いのちはめぐる

# 10月16日(日) 里山DAYinたざわ



田沢川ダム

## やまもと農村 交流センター



小林温泉





(株)チャンピオン 代表取締役社長  
高橋 芳秋さん(砂越)

幼いころ楯山の地域の方々に様々な形で面倒を見て頂き育てて頂きました。日が暮れるまで走り遊んだ記憶が蘇ります。地域の皆様方には感謝申し上げます。

地域初のホームセンターとして、40年以上上庄内地域を支えて来たチャンピオン。昭和、平成、令和と時が流れ、以前当たり前に出来た事も少しずつ出来なくなる。時々買い物にご来店頂いていたお客様をお見受けしなくなる。こんな光景を目にする様になりました。いつまでも自分の事を自分で出来る事の幸せをお届けしたい思いで、買い物サービスを山元・田沢地域に提供をしています。

お客様と店舗をタブレット端末で繋ぎリアルな対話を通じて買物が出来る仕組みをつくり、この度、東北DX大賞を受賞しました。これからは地域の農産物を販売する産直マルシェの開設、ネットで首都圏の方々にご提供する事も検討中です。是非これからも創意工夫を重ね皆で地域を元気にしていきましょう。

「山の向こうのもう一つの日本」これは元駐日米国大使エドウィン・O・ライシャワー博士の言葉です。山形を日本の本来の姿を思い出させる美しいところだと記しています。

一生懸命ひたむきに地域と関わり活躍している人を紹介します。

## みんな、おべっか〜 おらほの <sup>ひと</sup>かがやき人 <sup>ひと</sup>がんばり人



酒田市認定農業者  
阿部 雄人さん(山谷)

酒田市平田地区で就農して4年目の阿部雄人と申します。田沢地区に拠点を置き、水稲、ミニトマト、オクラ、赤カブをメインに栽培しています。現在の経営面積は10haを超え、うち7ha弱が田沢地区の経営面積です。

小さい頃からスキーと一輪車をやっており、アスリートとして活動してきました。大学時五輪金メダリストの友人の言葉がきっかけで農業をすることになりました。大学時は、スポーツ選手専用の寮で生活していて朝晩に出るご飯が口に合わず、自炊する日は祖母が作ったお米を炊いていました。それを食べた友人がおいしさに驚き、

「アスリートにとって体を作る食事は基本。まずい米では世界で戦えない。」という言葉聞き、世界や全国で活躍しているスポーツ選手に美味しい食事を食べて欲しいと考えるようになり大学卒業後就農し、現在に至っています。

地域全体の高齢化は避けられない課題ですが、応援してくださる地域の方々  
の力になれるよう、自身身まだまだ試行錯誤しニーズに合った作業を進めていきたいです。



# 田沢コミ振 フォトダイアリー

10/30 里山の食の恵み親子体験教室



やまもと会議と「食の都庄内」ブランド戦略会議事務局が企画した体験教室。当日は、庄内管内から9組20名の親子が参加してモクズガニ採取とガニたたき汁作りなどを体験しました。

11/13 そば打ち体験教室&ちよこっと市



恒例となったそば打ち体験教室。今年は市内外から40名が参加し自分たちが打ったそばに舌鼓を打っていました。同時に開催した地元農産物販売のちよこっと市も大盛況でした。

あけましておめでとうございます。  
事務員となつてから十一月が過ぎました。  
去年も、コロナの影響で出来なかった事業もありましたが、春の敬老会から始まりさまざまな事業に関わらせていただき、地域の皆さまとのつながりもたくさん生まれた年でした。仕事に慣れない私を温かく見守って協力していただき、ありがとうございます。  
今年も、子どもからお年寄りまで誰もが楽しめるコミ振活動と、誰もがフラッと立ち寄れるような田沢コミセンを目指して頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いたします。

長堀

あとがき

おめでとうございます！



令和4年度の酒田市表彰で、元田沢の久松光喜さんが市民表彰を受賞されました。長年の自治会活動や消防団活動、農業振興活動等が評価されたものです。本当におめでとうございます。

11/6 陶芸教室



今年も鶴岡市松ヶ岡の陶芸家を講師に陶芸教室を開催しました。受講者の皆さんは思い思いに作品作りに熱中していました。出来上がった作品は、2月の文化祭で展示されます。

11/22 ロゴマーク等看板設置



元田沢地内県道沿いの前野商店さん自動販売機施設の外壁をお借りし、田沢コミ振ロゴマークとキャッチフレーズを入れ込んだ看板を設置しました。